

愛友会四国連合会報

第 12 号

75. 10



目次

電友会の皆様へ……………	愛媛電気通信部長……………	二
四九年度公社決算まとめ……………	四国電気通信局……………	三
電話帳広告販売希望アンケート……………	四国電気通信局……………	六
調査結果について……………	営電部……………	六
電退連事務局長打合会開催……………	……………	六
恩給・共済年金受給者の処遇改善に関する陳情書……………	……………	六
西村・長田両参議院議員訪問記……………	……………	七
恩給・年金だより……………	……………	七
表紙のことば……………	莊野丹秀……………	七
事務局から重ねておねがい……………	……………	八
余栄……………	……………	八
随筆……………古佐小常三郎・栗田 信雄・高橋林二郎……………	……………	八
短歌・俳句・訃報……………	……………	九
特集……………私の好きな花……………	……………	一〇
鴨谷比早栄……………豊崎二三男……………石崎貞義……………上田敏春……………	……………	一〇
藤原重明……………松原喜三郎……………大西瓶子……………片岡増一……………	……………	一〇
鈴木健太郎……………武政春子……………三島花人……………山本秀吉……………	……………	一〇
新居嘉隆……………福島春枝……………玉川つとむ……………宮脇義雄……………	……………	一〇
橋本一治……………香川準一……………野本登美江……………	……………	一〇
会員消息……………	……………	一五
有井八郎……………岡久武夫……………木内正一……………水野輝穂……………	……………	一五
公社の人事異動……………	……………	一六
投稿規程……………	……………	一六
編集後記……………	……………	一六

電友会の皆様へ

愛媛電気通信部長

鈴木 慶 泰



空は澄みわた
り住み良い季節
となつてまいり
ました。電友会
の皆様にはま
すまご健勝のこ
ととお慶び申し

上げます

平素はまた公社事業の良き理解者、協力者
としていろいろご配慮いただき誠に有がとう
ございます。この誌上をおかりしましてあら
ためてお礼申しあげます。

公社は国民の皆様の電話の要望におこたえ
するため、数次にわたる五か年計画で設備を
拡充してまいりましたが、おかげ様で愛媛通
信部管内でもこの六月末で加入電話が三六万
個に達しました。これを普及率でみますと一
〇〇人当り二五個即ち県民約四人に一個とい
うこととなります。

特に最近では生活水準の向上、生活圏の拡大
などにより住宅用電話に対する要望が急激に
高まっております。このため、加入電話に占
める住宅用電話の割合は、公社発足当時の昭
和二十七年にはわずかに一％であったものが現
在では約六〇％となつており、住宅世帯普及
率でみると一〇〇世帯当り五一個で二世帯に
一個の住宅用電話があることとなります。し
かも最近の申込みの八〇％以上は住宅用電話

なので、今後さらに普及するものと思われま
す。これらの数字から見ても電話はテレビ、
冷蔵庫などと同様家庭生活の必需品となつて
きていると言えましょう。

またもっと便利に電話を使いたいという顧
客の要望に答えて開発されたプッシュホンは
愛媛県でも昭和四十七年の松山を皮切りに今治
新居浜、宇和島など順次販売地域を拡大して
きました。本年も大洲をはじめ八市町村で販
売開始を計画しており、これで県下のほとん
どの地域でプッシュホンが販売されることにな
ります。

電子交換機も六月に松山局で約三六〇加入
者を収容してサービスを開始しました。この
交換機の導入により従来より多彩なそして充
実したサービスを提供することが出来るよう
になります。さしむき国際通話のダイヤル
発信可能となっております。

料金業務の電算機処理については、かねて
から検討されていたところですが、いよいよ料
金局が山越ビルに設置される本年度末ころに
は松山局分(M、A)を機械計算することと
なっております。

公社は永年の懸案であった「申し込めばす
ぐつ電話」を五二年度末に実現さすため鋭
意努力しておりますが、当通信部でも今年度
五三、〇〇〇個の大量販売を計画しておりま
す。予定通り販売いたしますと年度末積滞は
三、〇〇〇程度に減少し待ち合せ期間一か月
程度の局もかなり出るなど各局とも大幅に需
給状況は改善される見通しです。

皆様もご存知のとおり公社は現在非常に厳
しい経営環境のもとにあります。住宅電話の

増加による単金の通減傾向に加え不況の影響
によって収入は伸び悩んでいる反面支出は物
価高、人件費アップなどで増加し、このため
四九年度は一、七五〇億円という公社始まっ
て以来の大幅な赤字を出しました。また、五
〇年度は初めから約二、〇〇〇億円の赤字予
算で計画をたてており、実行上はこれを大幅
に上回る赤字になることが想定されます。こ
のような厳しい情勢下にあつて私達は電気通
信サービスが国民生活に深く浸透している
ことを認識し、どのようにしてサービスの維
持、改善を行なっていくか、あるいは経営を
どのように改善していくか等の問題に真剣に
取り組んでいるところです。

公社事業を円滑に推進していくためには、
地域社会と遊離することは許されません。私
達は地域住民の方々の要望や意見を取り入れ
ながら事業を推進すべく努力していますが地
域社会でいろいろ活躍しておられ、かつ公
社最大の理解者である皆様方諸先輩の助言や
意見を熱望している次第です。今後とも私達
後輩をご指導いただくとともに地域社会と公
社とのパイプ役としてご活動いただければ幸
に存じます。

最後になりましたが電友会の皆様の今後の
ご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます

▲ 会員名簿の整備について

各県退職者の会の会員名簿はいつも現行に
しておきたいと思ひます。現在お手許の名簿
で現住所、勤務先、電話番号等に変更や誤
りがありましたら各県退職者の会へお知らせ
下さい。

四九年度公社決算まとめ

一七五三億円の欠損

四国電気通信局 文書広報課

公社では、昭和四九年度の決算を七月下旬に経営委員会の議決を得て郵政大臣に提出しました。これによりますと、経営の収支面においては、全社をあげて各種の増収対策を講じるとともに、経費の節減に努力しましたが、費用の伸びが、収益の伸びを大幅に上回り、一七五三億円という未曾有の欠損金計上となりました。

◎収支状況

総収益 一八八二〇億円
総費用 二〇五七三億円
当期欠損金 一七五三億円

収支の状況は以上のとおりですが、これは住宅用電話の増大に伴う一加入当り電話収入の低減傾向に加えて景気の停滞により電話収入の伸びが低かったことと、四八年秋の石油危機以来の急激な物価上昇等により事業支出が著しく増加したためです。

◎四国の決算状況

四国通信局管内の四九年度の決算はつぎのとおりです。

収入 五三五億円
支出 八三四億円
収支差額 二九四億円

四九年度は収入の鈍化と人件費等支出の増大によって四国の収支は二九四億円の赤字（本社からの総割掛費等を入れず四国のみの決算額では一四九億円の赤字）となり四八年の二二二億（総割掛費を入れず四国のみの決算額では九二億）に比べ大幅に増加しています。

△県別に見た事業収入概況

愛媛県 一八七億円 (三六%)
香川県 一四二億円 (二七%)
高知県 一〇一億円 (一九%)
徳島県 八七億円 (二七%)

△局別収入順位（ベスト10）

順位	局名	収入額	全体の割合
一	高松電話局	八〇億	(15%)
二	松山	七二億	(14%)
三	高知報話局	五九億	(11%)
四	徳島	四六億	(9%)
五	今治	二二億	(4%)
六	新居浜	一九億	(4%)
七	宇和島	一四億	(3%)
八	坂出	一二億	(2%)
九	観音寺	一二億	(2%)
十	伊予三島	一一億	(2%)

以上の順位となっており、四県庁所在地で四国の総収入の五〇パーセント近くの総収入をあげています。

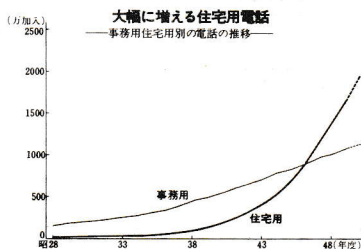
◎今後の問題

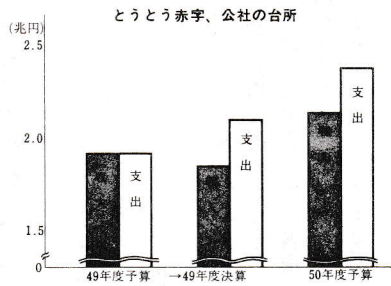
以上公社全体と四国の四九年度の決算についてお知らせいたしました。公社全体として一七五三億にのぼる欠損となり、これにはいろいろな原因があります。この際公社の現状を先輩のみなさんに率直にお知らせし、ご一緒に考え頂きたいとお願いする次第です。

■今後八割以上が住宅用電話の増設

人口一〇〇人当りに電話何個か、これを電話普及率といいますが、28年度のはじめわずか一、八個だったのが49年度には二六、一個と、15倍向上しました。つまり三・八人に一個の割合になっているのです。

こんなにまで普及した大きな原因は、生活水準の向上を反映して住宅用電話が急ピッチでふえてきたことです。加入電話総数の中に占める住宅用電話の割合が、28年度初頭の六%から49年度末六〇%になっています。その上、今後増設する電話の八割以上が住宅用電話です。この割合は上がる一方です。それほど電話は生活必需品化してきたわけですが、住宅用電話は事務用電話に比べてどうしても利用回数の少ないのが、公社にとっては辛いところ。利用回数の少ない住宅用電話がどんどんふえていくことは、電話全体から見ると一本当り利用回数が下がることとなります。





さきにもふれましたが、利用率の低い住宅用電話の増加は、それだけ公社の事業収入の伸びを鈍化させます。一方、新技術の導入や省力化の施策などで、電話サービスを維持する費用の節減をはかってきました。これからは今までのように大幅な節減は期待できません。たとえば、省力化の大きな柱だった電話のダイヤル化はほとんど済んで、あとは一部地方の小局だけです。

そこへもってきて、一昨年のオイルショック以来の物価や人件費の急上昇が加わりましたから、電電公社もついに赤字を出すにたりました。49年度の公社決算では、一七五三億円の赤字となりました。この傾向はさらに続き、50年度は当初から約二五〇〇億円の赤字を見込まざるを得ない現状です。

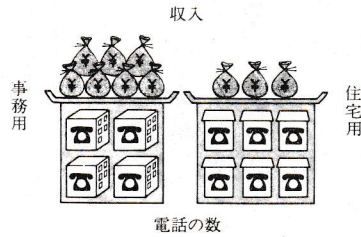
■49年度一七五三億円の赤字

現在、住宅用電話の一カ月一加入当りの平均収入額は、事務用電話の約三割というところ。住宅用はどうしても利用回数が少ない上に、その利用回数に応じた通話料の単位料金七円があまりにも安すぎることに原因があるのではないだろうか。また、利用回数に關係しない基本料も、住宅用は事務用に比べ三割安くなっています。このため、今後住宅用電話がどんどんとふえていくにつれ、全体の平均収入がますます下がっていく勘定です。

さきに、今や住宅用電話が全体の六割をこえた、といいましたが、現在公社の台所は、総電話数の四割足らずの事務用電話からの収入が電話収入全体の七割をささえ、多数派の住宅用電話からは三割の収入しかない、という形になっています。電話収入面からみると、事務用電話が住宅用電話を支えている、いかなれば福祉志向スタイルです。

収入が上がらない住宅用電話

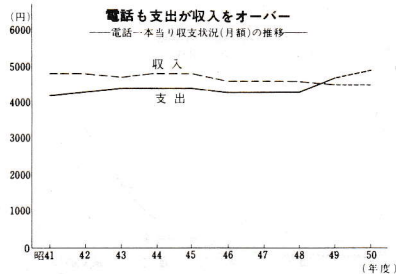
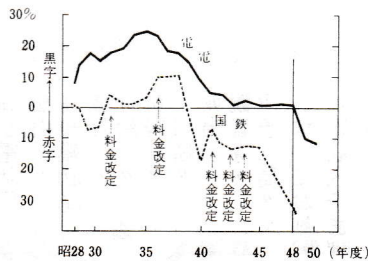
事務用住宅用別にみた収入比較



■四割の事務用電話で七割の収入

赤字はサービスの危険信号

事業収入と事業支出の割合の推移



電話も支出が収入をオーバー

電話一本当り収支状況(月額)の推移

■目標達成も現状維持もともにピンチ

公社は48年度からの第五次五カ年計画で、住宅用電話一二五五万、事務用電話二七五万の増設、磁石式局のダイヤル化約二四〇〇局、加入区域の拡大約四五〇〇区域実施などの目標を定めて進めています。これは公社の手前勝手な目標ではなく、国民のための電話事業経営を受持っている公社が、国民の皆様の要望を十分汲みとって定めた目標なのです。

さらにこれらの目標を達成すればよいだけではなく、当然、現在の二九〇〇万の加入者に対するサービスを維持していかなければなりません。そのため回線の増設や古くなった設備の取替えも進めているのです。

当初52年度まではいろいろな努力でなんとか赤字を出さずにすむ予想でしたが、今まで述べてきた事情で、49年度から大幅な赤字に転落したわけです。

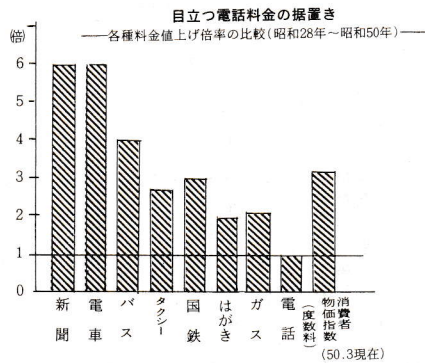
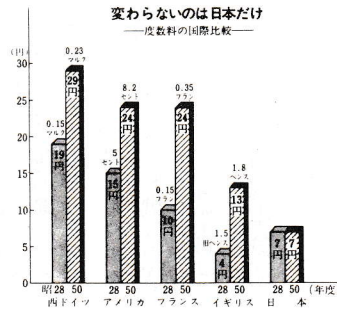
このままではサービス水準のダウンの恐れも出そうなのです。

■サービス維持の原価も急騰

いまついている電話、それはたとえジャンジャンお使いになろうが、あまりお使いにならないだろうが、ともかくほとんど同じように毎月約四九〇〇円のサービス維持原価がかかっているのです。

この電話一本のサービス維持原価四九〇〇円というのは、二年前の48年度には月額四三〇〇円でした。六〇〇円、約一四％のハネ上がりというわけです。

この原価の中味は、ごく大まかに分けて保守運用費(人件費、物件費)、利子、減価償却費ということですが、この中で注目しなければならぬのが、利子と人件費です。電話拡充の建設資金を外部から多く仰いでいること、赤字経営のやりくりで借入金が増えていくことから利子等も当然ふくらみます。人件費もこのところの賃金大幅アップが響いて二年間で三割近くも上っています。物件費微増は経費節減の努力によるものです。



とくに一昨年のオイルショック以来の異常な経済変動は、今さらここに述べるまでもなく皆様が生活上の実感として十分にご存知の通りです。

電話事業として決してその例外ではありません。繰り返し述べてきました公社の努力では、もはやとうとう七円ではささえ切れない時代になってきたのです。

この現象はひとり日本だけではなく、英、仏、独とも28年に比べ二・三倍以上の増額を上げています。その額も西ドイツが日本の四倍、アメリカ、フランスは日本の三倍強、イギリスが二倍というところまで。

これをい換えると、日本の料金は、単位となる短距離通話料が諸外国に比べて高く、長距離割高の感じになっています。

■七円は世界の中でも最低料金

これはさし詰め、今後もちよつと破れそうでない、公共料金据置き最長記録ではないかと思えます。23年昔といえば大学卒の初任給が一万円ほどだったかと思えます。

昨今の初任給はその約10倍と考え合わせますと、まさに驚異ではありませんか。

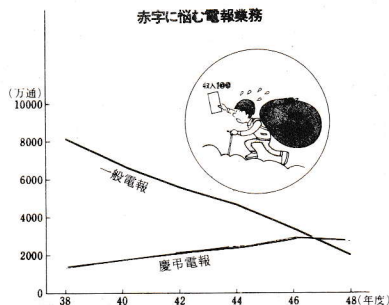
なぜこんなことが可能だったのか。それは技術革新や経営合理化でコストの上昇を押さえてきたからです。

■公共料金据置き最長記録

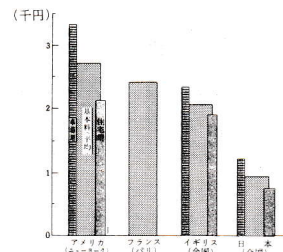
いま街へ出て10円玉一個でいったい何が出来るでしょうか。確かなことは公衆電話をかけることです。

通話料金の単位の七円は、昭和28年に五円から七円になったままで、以来23年間も据置きです。途中で、技術の進歩や加入区域の拡大等で通話秒数の一部変更はあったものの、それとて要するに値上げにならないような変更でした。

赤字に悩む電報業務



安い日本の基本料



収入一〇〇に支出九〇〇の電報

電報はこのところますます利用が減り、とくに「チキトク」「カネオクレ」といった一般市民の緊急用電報は激減し、わずかにお祝いやおくやみの電報がふえているだけです。

電報は人手によって配達すること、そしてほんのたまに通、二通とある電報のために、職員を待機させなければならない、などで、一〇〇円の収入に対して九〇〇円の費用をかけている勘定です。

もちろんこれまで、考えられるあらゆる機械化、合理化を図ってきました。それでもこの収支のアンバランスはひたすら一方なのです。今まではその赤字を、黒字の電話収入でカバーし、何とかやりくりをつけてきました。しかしここへきて、肝心の電話自体がピンチになってきましたので、この際、電報についても考え直さなければなりません。

■低すぎる固定収入(基本料)

ご存知のように、電話料金は大きく分けて基本料と度数料(通話料金)となっています。公社側から見ますと、基本料は月に一、二度しか使われない電話からも、月に十回以上も使われる電話からも、全く同じように払っていただくもので、固定的な収入です。度数料の方はもし仮に一度もお使いにならないければ一円もいただかないしくみで、利用度に応じた変動収入ということになります。

この点がテレビセットと大きく異なるところです。極端にいい方をしますと、テレビセットのメーカーは、セットが売れさえすれば後はお客が使う方が使うまいがおかまいなしで採算がとれるしくみ、電話の方は架設してもあとあと相当使っていないと採算割れ、というしくみなのです。近ごろこの変動収入が、一電話当りにすると低落傾向にあるのが公社にとって大問題なのです。

以上あらましますが公社の实情と当面している問題点の主なものをお知らせしました。電話は今日、日常生活の大切な必需品となりそして電話事業は国民の皆様の大事な財産であります。この観点にたつて電話事業を根本的に考え直してみなければならぬ時期にきていると思います。

電話帳広告販売希望

アンケート調査結果について

四国電気通信局営業部

電友会の皆さん、毎日お元気でおすごですか。

さて、先般、会長さんを通じて、電話帳広告販売業務に手助けをしていただけないだろうか、と、アンケートにより調査させていただきましたが、その結果をご報告申し上げます。ご回答をおよそくださったのは三十三人で内訳は次の表のとおりです。

項 目	希望者数
① 看板は出せるが、セールス活動はできない	一五
② 知人、親類だけに働きかけるのであればできる	九
③ 看板を出し、積極的に広告販売活動ができる	三
④ 看板を出し、積極的に広告販売活動ができると同時に集金活動もできる	六
合 計	三三

さっそく、広告販売業務を全面的に取り扱っております電気通信共済会にこの結果を連絡しまして、さしむき③④のご希望をよせられた方と電気通信共済会との間で話し合いを持っていただき、一定地域における五十音別電話帳の広告販売活動を試行的にお願いすることとしました。

その結果を参考にして、さらに今後の進め方を協議したいと思しますので、一応中間報告をさせていただきます。

電退連事務局長打合会開催

七月二一日（月）東京千代田区通信綜合博物館四階会議室において、電電公社退職者団体連合会（電退連）事務局長打合会が開催され玉川事務局長が出席した。

本部事務局長の外各団体の事務局長が参加し、次の問題について協議を行なった。

議 題

- 一 昭和五十一年度恩給・共済年金受給者の処遇改善に関する陳情について（陳情書別記）
 - 二 生存者叙勲の範囲拡大について
 - 三 殉職者の慰霊祭について
 - 四 退職者の現況調査結果について（電電公社厚生局実施）
- 打合会終了後、全員打揃って参議院会館に西村尚治、長田裕二両参議院議員を訪問し、恩給・共済年金受給者の処遇改善について陳情を行なった。（訪問記別記）

昭和五十一年度恩給・共済年金受給者の

の処遇改善に関する陳情書

恩給・共済年金受給者の処遇改善につきましては、いつもながら格別のご配慮にあずかり、私も電電公社関係退職者はひとしくそのご厚志に感謝しております。

おかげをもちまして、昭和五十一年度において恩給・共済年金について相当の改善を計られましたことは、これひとえに関係各位のご尽力によるものと厚く御礼申し上げます。

しかしながら、近時物価上昇の傾向は漸く鈍化しつつあるも、物価は依然として高値状態にあり、加えて今後物価上昇の再燃するおそれもあり、恩給・共済年金受給者の処遇は公務員のそれに比較して更に改善すべき多くの問題を残しております。

つきましては、昭和五十一年度国家予算等の編成に関連し、左記の改善措置を是非講ぜられまよう特別のご高配を賜わりたく、会員一同の総意に基き、ここに謹んでお願い申し上げます。

記

- 一 恩給・共済年金の改善は公務員の給与にスライドして調整し、かつこれを制度化していただきたい。
- 二 恩給・共済年金の改定時期については、四月一日に繰上げ実施していただきたい。
- 三 七十歳以上の高齢者等の恩給・共済年金算出率の特令による「三百分の一」を「百五十百分の一」に改善していただきたい。
- 四 公務員給与と恩給・共済年金の水準の格差につき、さらに検討を加えると共に退職年次による格差の完全是正を図っていただきたい。
- 五 遺族扶助料または遺族年金の算定基準額

は恩給・共済年金額の三分の二（現行二分の一）以上に改善していただきたい。

六 恩給・共済年金受給者に対する老令福祉年金の併給制限を全面的に撤廃していただきたい。

（この陳情書は、電電公社退職者団体連合会長と各県の会長が連名で国会議員に提出することになっています。また電退連本部においては、すでに七月二日自民党政調会へ提出その実現方を要望してあります。）

西村、長田両参議院議員訪問記

七月二十一日電退連事務局長打合会のあと、参議院会館に西村尚治、長田裕二両参議院議員を訪問、恩給・共済年金受給者の処遇改善について陳情を行なうとともに第七十五通常国会の模様等を聞いた。

要旨は次のとおり

第七十五通常国会は、会期末ぎりぎりまで混乱状態が続いて遂に閉会となった。その際恩給改正法案並びに共済年金改正法案も時間切れで審議未了廃案となったのであるが、その経緯をかえりみると、昭和五十年年度の恩給改善に関する法律案は、五月七日衆議院内閣委員会付帯決議がなされ九日の本会議で可決、引き続き参議院へ回付されたが、同内閣委員会も通過し本会議の審議待ちであった。

ところが今国会の焦点となった公選法、独禁法等重要法案の審議が長引き、加えて酒、煙草等の値上げ法案の審議もからんで、七月四日の会期末まで混乱状態が続いて閉会とい

う不測の事態に当面したため、関係議員もこれの扱い方について心を煩しており、一応継続審議の形をとり臨時国会で必ず成立せしめたいとしている。すでに衆議院を通過し参議院の内閣委員会でも可決されており、改善措置案に対する予算も決定している現在、秋の臨時国会（九月頃の予定）では必ず上程され恩給・共済年金とも成立することは間違いないと見られている。

また臨時国会で成立を見た場合問題となる実施期日については、八月に遡及することになりそうである。但し法案が成立する段階で支給期が遅れることもあり得るだろう。

受給者の皆さんは例年どおり会期末の成立を九分九厘確信していただけに、この予想外の事態にショックを受けていられることは十分察せられるが、臨時国会では法案通過を期し全力を尽すつもりでいるので今後とも一層のご支援とご協力をおねがいする。（玉川記）

恩給・年金だより

○ 昭和五十年年度の恩給・共済年金の改正法律案国会において不成立

われわれ年金生活者にとっては一大痛手でありますが関係の向きの意向では九月の臨時国会での成立は期待できそうであるとのこと

です。
詳細は「西村、長田両参議院議員訪問記」をのぞいてください。

○ 高齢者に対する課税控除について

恩給・共済年金等の受給者で六五才以上の高齢者に対する課税控除については、特別措置法により四月から控除額が従来の六十万円から七十八万円に引き上げられています。即ち恩給や共済年金等を含めて年収一千万円までの者は（従来は五百万円）高齢者年金控除が七十八万円まで行なわれることになります。

○ 厚生年金・国民年金の改定

物価上昇のスライドにより、厚生年金は本年八月から、国民年金は九月から年金額が二一、八パーセント引き上げられます。

このスライドのしくみは、昭和四八年の改正によって初めて年金制度にとり入れられたもので、消費者物価が一年度または二年度以上の間に五パーセントを超えて上ったり下ったりしたときは、その率に応じて年金額を改正されるものです。

改正される月は、厚生年金が次の年度の十一月、国民年金が一月となっていますが、昨年引き続き今年も、前記のようになり上げられて実施されます。

表紙のことば

莊野 丹秀（内海）

小豆島余島のスケッチです。うつり行く時の流れの中に若き日の追憶をなつかしみつつ画筆をはしらせました。

事務局から重ねて

おねがい

未だに叙勲上申の時機を失して会員の訃報が届くという手違いが跡を断ちません。

会報十一号でもお知らせしたように、二十年以上勤続した退職者の死亡時には、総裁又は通信局長から弔電をいただくことになっていきますので、少くとも告別式までに通信局へ連絡がなければなりません。悲嘆にくれる遺族に退職者の会への連絡は無理と認めますので、友人知己の方は速やかに各県退職者の会事務所および左記へご連絡下さい。

電友会四国連合会事務所

松山（〇八九九）三六―二〇二三

余 栄

さきにご逝去された左記の方々に対し多年電気通信事業に貢献された功績により叙位、叙勲の栄誉を授与されました。

従七位勲六等瑞宝章（四九、一二、二四）

故岡林繁晴殿（高知）

従七位勲六等瑞宝章（五〇、一、九）

故北谷喜市殿（高松）

小鳥と暮らす五十年

三木 古佐小常三郎

私は生来生き物好きで、特に小鳥を愛します。二十一才の年官練を出て直ぐ、独身勤務でも飼えるカナリヤなどを借間の一隅で飼いはじめた。既に飼鳥歴は五十年を超えました。一頃は十数種類、数百羽以上も飼いました。近年は老令のため摺り餌鳥を主として、こまなど二十数羽に減りました。

私は中年頃から飼鳥に凝るに従って、飼鳥には少なくとも三徳があり、その効果乃至価値は飼鳥内容の鳥種及び羽数に関する広度や趣味の深度に比例することに気付きました。その三徳は、第一に飼鳥は私に取って最大絶対の娯楽であること。第二はギャンブル、飲屋通い、観劇、旅行など金と時間を要することは概ね飼鳥趣味によって代替され、日常生活における金と時間が大いに節約されること。第三は心の安定と軽易な作業の継続は自然に老後の保健と長寿に資することであり、（飼鳥の対象となる小鳥はいにくと殆んどが保護鳥です、各県によって捕獲を禁止したり、捕獲や飼養に制限をくわえたりしていますので飼鳥を初めたい方がありましたら、個別にお手引きしますからご連絡下さい）

わたしの朝鮮語

松山 栗田 信雄

先日「ドイツ語の決り文句」と題する参考書を買った。ページをめくると冒頭に「ピツテ Bitte(どうぞ)の表現だけでレストランで堂々食事をすませた勇士がいる」とて、この

単語の使いわけ、聞きわけで食事の注文から料金、チップの支払までやってのけたと書いている。わたしはこれを読み短い単語の中にピチピチとした生命力を感じるとともに、古いことを思い出したのである。

それはもう五十年以上も前のある日のことであつた。一人の朝鮮の飴売りが一枚の添書を持ってやってきた。それには「このものは朝鮮の水害の難民で、日本語がわからぬがよろしく救ってやってくれ」との旨が書いてあつた。

その男よほどひもじかつたかと思へ飴の箱を開けるよりさきに座敷に並べてあつた餅をみつけ、これをくれよとの手振りである。しかし餅はこちこちに乾き歯がたたぬと思つたのでわたしは「ナッポン」その男「ナッポン？」「ウン、ナッポン」これで餅をあきらめた。その男こんどは腹のあたりを押え飯を食べさせてくれとの手振りをしたので、台所にまわし飯を盛ってやると、そこにあつたソース瓶を取り上げそれを飯にかけようとしたのでわたしはまた「ナッポン」「ナッポン？」「ウン、ナッポン」そして醬油を出してやるとその男はそれをかけてさもうまそうに食べるので、わたしは「チョンゴシ？」「ウン、チョンゴシ」、二三杯食べ腹ごしらえができたその男はあがりかまちに腰をかけ、やおら箱から飴を取り出し出でてくれという。二三口ねねぶってわたしは「チョンゴシ」「チョンゴシ？」「ウン、チョンゴシ」かくてナッポンとチョンゴシでその場をとりまとめたのである。

ちなみにわたしの朝鮮語はこのほか「チョ

ンガー」の三語だけである。

徂徠と白石

松山 高橋 林二郎

榎本其角の句に「梅が香や隣は萩生惣右衛門」というのがある。萩生惣右衛門は史上有名な萩生徂徠の通称で、彼が老中柳沢吉保に仕えたのは、元禄七年、三十才であった。

柳沢吉保は將軍綱吉の寵に押れ、政道を私したといわれているが、事実はかならずしもそうではなかった。彼は徂徠の意見を重用した。一例を挙げると、主君の仇を報じた赤穂浪士に対し、幕閣のなかにも助命の動きがあったが、法に照らして断乎処分したのは徂徠の献策によるものであった。

新井白石は徂徠よりも八才年長であったが世に出たのは徂徠よりも後であった。徂徠は柳沢を通じて將軍綱吉をも動かしたが、白石は甲府侯徳川綱豊に仕え、次の舞台を待った若いころ「男子生れて宰相たらずんば、死して閻魔大王たるべし」と豪語した白石であった。柳沢は將軍綱吉の死去に遭い失脚した。甲府綱豊が宗家を襲いで六代將軍家宣となった。白石が筑後守に任官し、縦横に才腕を振ったのは家宣、家継の治世十年間であった。八代吉宗が紀州から入って將軍になると、彼は斥けられた。代って萩生徂徠が吉宗の黒幕になった。

白石と徂徠は遂に生涯の宿敵となった。白石の著書は多い。だが「藩翰譜」にしても「読書余論」にしても在官中のものは要するに幕府中心のものであった。「古史通」「折焚く柴の記」をはじめ彼の代表作は晩年蟄居

中の労作であった。私が白石に心ひかれるのは青年時代の彼でもなく、得意絶頂の在官時代の彼でもない。世の批難に耐え、黙々と著述に没頭した晩年失意の彼であった。

短 歌

松山 藤田 基孝

この夏を越し得ず死にし友一人秋立つけふをまた一人亡し

— 山本、堀井両氏を悼む二首 —

しじみ食ひて病なほせと励ましてくれし友なりき今は亡きかも

日に曝れし宗谷の磯の流れ木も吾が杖となりて伊予に渡りぬ

— 北海道の旅三首 —

オホーツクの海を抱きて沖遠く伸びし岬も今日は歩みぬ

荒磯のうしほの垂るる昆布を噛み還り来ぬ島を恋ふるむなしさ

俳 句

徳島 三島 花人

内宮の昼静かなり松の花

バスで過ぐ鳥羽路なつかし田植時

見下ろせし伊良湖の足下卯浪寄す

真珠海女潜り幟は島に立つ

伊賀の里忍者の立てし武者幟

松山 玉川 都夢

宿坊の壁朽ち落ちて韭の花

夢紅し出水の跡のそのままに

煌々と虫の夜灯す発電所

盆のものがくさぐさ供ふ童子佛

野牡丹のいまはの色の濃かりけり

訃 報

次の方々が亡くなりました。謹んで哀悼の意を表します。

氏 名	死亡月日	行年	所 属
橋本 仁平殿	50・6・21	八二	阿波池田
山本 正信殿	50・7・30	六九	松 山
堀井時四郎殿	50・8・11	六九	松 山

訂 正

はじめて手掛た会報第十一号、校正不馴れのため誤りがありましたのでお詫びし、次のとおり訂正致します。

(ページ) (正)

四頁中段 一宮喜多男

一宮多喜男

五頁下段 五一年一月一日

五〇年一月一日

十二頁中段

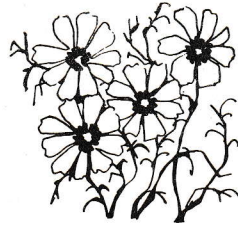
徳 島

鴨 島

〃 〃 鴨 島

徳 島

特 集

私の
好きな
花

交換室と小菊

高松 鴨谷 比早栄

秋の花について書くよう連絡をうけたとき一番に浮かんできたのは、過ぎ去った在局時の交換室と小菊でした。今から七年前の運用は応答サービスの安定と向上になやまされ、ときにはイライラするなど、そのようなとき美しく活けられた色とりどりの小菊に、どんなに心を柔らげ慰められたことか。

花は好きです。道端の一輪の野菊さえ精一ぱい美しく咲いている。いつ訪れるか分らないが、いじらしく大好き。若い人達に、花のような心になりたいね、なにも求めず美を与えてくれる。と話しかけると、与えるって、ほんと笑った笑顔の明るさ。小菊が咲く頃、二度と訪れないむかしが懐かし、花を活けたあの人達も今は人の親、今日も小菊を眺めてなにを考えていることやら。人それぞれの心の中に美しく咲き、慰めと励ましを与えていることでしょう。

私の好きな花

徳島 豊崎 二三男

お雛祭の近づいたある日、光兼峰の中腹から在所へ続く細い坂道を、右手に桃の花を差上げて男の子が転げるように駆下りてくる。今から六十年ばかり以前に、毎年くり返されていた私の行事だったのです。光兼峰の中腹に大きな桃の木があった。旧暦の雛祭の頃に蕾が開きはじめて、濃い緋色の花は空を突抜いてあざやかな彩りを見せていた。在所のどこからでも見えるこの花は、忙しい農家の人の手を休める話題にもなった。

小学校へ通っている時代だったので、式の当日だけ袴をつけて登校した。姉の袴はこの桃の花と同じ色なので在所の人が、キミコはんの袴は峰の桃の花で染めたんかエ?など言っただけで姉をからかっていた。こんな思い出が桃の花を好きにした遠因だと思いが、少しまばらな花をつけた桃の花がとても好きである。桃の花の季節になると故郷の景色と一緒に、幼なかつた弟や妹が庭先から大声をあげて、坂道を駆下りてくる私を迎えてくれた様が目には浮かぶ。

菊の育てかた

宇和島 石崎 貞義

私の好きな花、菊の育てかたについて少し紹介します。先ず五月下旬先の方から三節ずつ剪り苗床に挿す。一節を土の中にうずめる十五日から二十日ぐらいて根がおりる。六月下旬から七月上旬五穂ほど芽が出たところで畑へ移植する。二番目は摘み取る。

私の好きな花

松山 上田 敏春

菊と菊の間は十五穂、溝の間は三十穂ぐらいがよいでしょう。七月下旬頃十五穂程にのびたところで根本の方の葉三、四枚を残してつみ剪る。その頃には葉の元の莖（移植のとき土をかぶせた部分）からはもう根がおりている。つみ剪ったところから葉が三、四本でる。十五穂程のびたころ落葉又は枯草を入れて土をかぶせる（腐葉土であればなおよい）。二十穂ほどのびた頃竹を立てて風が吹いても倒れぬようしばりつける。この場合きつく縛りつけぬこと、竹と菊の幹の間に余裕をあたること。でないと縛ったところより下の部分も幹がのびるにつれて節の間がのびる。六十穂ほどのびた頃又竹に縛りつける、竹は七、八十穂ほどのものをかまえて置く。肥料は葉の色をみてやること。黄色い葉や葉に白い点々が出来たら消毒をすること。それからありまきがよくつく、この場合の害虫の消毒薬は花屋か農協へゆけばある。蕾ができたから肥料はやらないこと。蕾がふくらんでから肥料をやると花びらに黒点が出て来ることが多い。鉢植の場合もだいたい同じであるが鉢の場合は朝夕土がしめるていどに水をやること。鉢の場合は菊の芽の先をつみ剪った時新芽は一本か二本ぐらいにする。

「花でも作ってみようか」という殊勝な気持がおこったところへ、タイミングよろしくある先輩からはじめたばかりの皐月の小鉢を見せられて以来すっかり皐月の虜になってしまった。

当時はまだ松山の植木屋さんにも全く見かけることができないので、ある古老を訪ねて三〇五センチ程度の当年苗をわけてもらって一鉢ずつ増えていく我が家の花園を築んだものである。あれからかれこれ二〇年、生れたばかりの子供も二〇才ともなると一人前といったところであるが、枝の作り方、幹のつくり方、皆目わからない当時成長した我が家の皐月は、今は全くあわれな姿で、こんな姿にしてしまった自分が悔やまれる。

どんな趣味でも本人にとっては何ものにもかえられない楽しみであり、趣味に上下のへだてなしとか、仕事をはなれて一つのことだに打込んでいく楽しみはまた格別であるが、皐月作りは他の盆栽や花つくりと比べて花と木の両方を楽しむことができるうえ、少々失敗しても二、三年のうちにはかえって失敗が成功のもととなる。一芽一芽はぐくんでくる春の若葉の鮮さは花にもまさる楽しみであり、やがて念願の花がすんだかと思うと再度を期しての整枝、植替、秋も深まるにつれて、いっしか木々も紅葉してさながら秋の山野を歩く思い、こんなことを繰返しながらいっしか頭もはげてしまった今日この頃である。

枯ススキ

松山 藤原 重明

総じて花と名のつくものは大抵好きです。春の花はあてやか、秋の花は可憐と云ったところ。どちらもその時々に応じて私等の生活を慰めてくれます。

あてやかなものでは初夏の鉄砲百合、グラジオラスなど色彩、姿ともにたくましい程の

美を感じさせます。一方、秋風の吹き始める頃、人里離れた田舎道で、群れ咲いている芒の穂は捨て難い味があります。

森繁久彌の好んで唄う『枯芒』は私等の子供時代に流行した庶民の歌と云えるものです。美しい自然と厳しい人生を調和して妙です。

芒の名所と問われて自信はありませんが、数年前、神戸の六甲山から有馬温泉を経て宝塚に至る山道をバスドライブしたことがあります。その沿道で咲き誇っていた芒はスバシイと思えました。つましいうちに絢爛の秋を展開していました。

枯ススキ辺境に精一杯の誇らしさ

花と人生

高松 松原 喜三郎

自然は遠のき緑は追いついてたてられている昨今です。私達は四季を忘れず花を咲かせてくれる植物を我が家の庭の片隅や窓辺に持ち、小さくても「身近な自然」をこんなにすばらしい事はないと思います。

それは昨年の晩秋の黄昏れ時でした。作業の手を止めてふと見れば、畑の片すみに名も知れぬ草花が一輪薄紫の花を咲かせているのを見ました。その生命力の尊さを思う時どんな高価な花よりも美しく感じてしばらく眺めていたが、とうとう鉢に移植して持帰り、縁側に置いて一週間近くも楽しみました。

どんな花でも結構です、一日の疲れを忘れさせてくれ家庭円満の絆ともなるなれば最高の花であり、おのずと愛情が通うものです。悲しい時、苦しい時、花を眺めているとこ

の可憐な物言わぬ友は何かと答えてくれます。そして今年も秋になれば又咲くのを楽しみにしています。

恵那山の霧の龍胆

高知 大西 瓶子

若い頃の話である。麓の宿で假眠をとり、夜中に起きて懐中電灯と月明りに登山、明け方近くに恵那山の頂上にある鳥屋場に着いた小さな山小屋には鳥屋師が一人炉を焚いて迎えてくれた。

炉話にちちとおきいる罔かな 爽雨

木曾の高原は明けやすい。東の空がしらけてくる頃、木に吊し岩の上に配ってある罔が高音を張って山々に飜すると、無数の小鳥の群が渡ってくる。この一瞬、鳥屋師の竹竿が一閃すると群は急転直下松林に張りめぐらされた霞網にかかる。松林一帯は朝霧に濡れた龍胆の叢であった。今でもはっきりとあざやかな藍が印象に残っている。

龍胆に日高くなりし鳥屋場かな 継郎
龍胆に霧の流るる音すなり 瓶子

萩の花

松山 片岡 増一

私の軍隊生活は満洲でした。在満一年も過ぎて少し余裕ができた頃、兵舎の庭で、赤い夕陽を受けて美しく咲いていた萩の花は、忘れられない私の萩の花となっています。

私の庭は庭という程ではありませんが早咲きの山茶花がつぼみを見せる十一月から椿、梅、白木蓮、ツツジ、紫木蓮、サツキと順に咲くように庭師が植え込んでくれていますの

で、季節を追って美しい花木が楽しめます。

限られた庭では、アジサイが終って夏になりますと秋まで花木が途絶えますので、気に入ったものを植え足したいと思っています。

秋のピラカンサスの赤い実は私の好きな植木の一つです。

もの思う秋は、また実りの季節として考えさせられるものです。双葉から、つぼみ、花を咲かせて立派な実をつけ秋とともに赤くうれた木の実が夕陽に映えるのを見ると、今人生の晩秋を歩いている自分に気がつきます。美しい実というには寂しい人生の実りの秋を感じますが、一生懸命生きてきたことを心の支えにして、少しでもよい晩年を築きたいと思つて静かに頑張っています。

私の好きな花

新居浜 鈴木 健太郎

花ならなんでも好きですが、特に好きな花というものはありません。したがって標題とは関係のなさそうな雑然としたものであり、思い出のようなものです。家を建てたとき屋敷内に、さつき、ばら、ささんか、くちなし、じんちようげ等思いつきばったりで植えました。

花だけでなく実の生る木も五、六本植えました。ついでにわが家でも花見ができるようにと桜も植えました。しかしこれら花の咲く頃わが家に住んだ期間はすくなく、退職後帰ってみると桜、桃、びわ、いちじくなど大きく成長しておりましたが、そのかわり枯死したと思われるものもかなりありました。家族の数もふえましたので少々増築のため、さつ

き、ばらなど妹達にわけてやり、今では十株あまり残っています。花見のつもりの桜も大きくなるばかりで何回も枝を切り、今では花見には花がすくなくて淋しい限りです。

昔から桜切る馬鹿、梅切らぬ馬鹿と申ししますがわが家ではその反対になりました。

秋の花と言えば菊でしょうが、私には菊を論ずる才能がありませんので、今日この頃のこととて拙稿を終りとします。孫が朝顔の観察をしておりますので、一緒に三つ葉が出た、本葉がでてきたと記録をして喜んでおり嬉しそうです。

秋草と私

高知 武政 春子

自然の中での生活を夢み、私は街の騒音をさけて山里暮しの静かな日々を過している。

山、そのものが庭である私の住居では、二十歩もあるけば藤袴、釣鐘草、柴せんぶり、高野ぼうき、等々、可憐な秋草がすそにまつわる。四季それぞれに咲く野生の花は多い。

だが私は、この秋草にすそを添えて籠に活けた秋の風情が一番好きである。若い時から今に変わらない心情ではあるけれど、甘い感傷に心ざわめいた遠い日のそれと異なり、五十の坂を越した今ともなると、秋草を活けた床の前に坐すひと時が、何にもまさる心のなごみとなったようだ。静かな安らぎが私をつつむこんな時、「生きていてよかった」としみじみ思ったりもする。それが人世への悟りか、あきらめか、自分にもわからない。

ともあれ、大自然と一体になれる平凡な人間の日常生活のうちにこそ、ほんとうの平和

があることを最近の世相に観て、私は心から秋の草花に感謝の掌を合わせなければ………と思う。

百花の王 菊

徳島 三島 花人

私等は四季それぞれの花の中に生活をしておりますが、何と申しましても百花の王と云えばやはり菊につきると申せましょう。皇室の御紋章は殊に印象が深いです。

さて私は菊作りは至って下手です。別と致しまして、百花の王は菊、路傍や庭隅の乱れ咲きから精魂をこめた大輪まで、形も色も千差万別、その種類に至っては数え切れない気品と清香にとむ風格の高い花、一茎一花の大菊、狂い咲きの綾を見せる中菊、多く懸崖に仕立てられる小菊など、とうてい数え切れない程あります。

私は大阪で四十数年居りましたので、やはり日本一の枚方の菊人形が目につかびます。年々の古き歴史を人形に仕立てて、新しいアイディアで見物客を堪能させる菊の花は見事なものでした。十年余り新しい人形を見ていないので、説明が出来ないのが残念です。

菊の香や奈良には古き仏達 芭蕉

白菊の目に立てて見る塵もなし 同

黄菊白菊其外の名は無くもがな 嵐雪

自らの老好もしや菊に立つ 虚子

わがいのち菊にむかいてしづかなる秋桜子

大輪の白菊の辺がまづ暮れぬ 楸邨

菊花壇塵なき砂を掃き清め 花人

菊人形裳にかけて盛りかな 同

光秀の柱の影や菊人形 同

右の句は古人より現在までの俳人のそれぞれの見方を列記しましたが、菊の静態がよくお分りの事と存じます。

菊つくりの楽しみ

高知 山本 秀吉

菊は皇室のご紋章であり、国の花としてこれ程多くの人々に、愛好され賞玩される花はあるまいと思う。その花形、色合といひ多種多様、高貴優雅、芳香豊かなので、かく観賞愛玩されるゆえんであらう。

毎年開花の季節ともなると、私は各地の菊花展を訪れては大菊の雄大佳麗さ、盆景の額付、岩付、板付等々作者の雅趣と個性の溢れる作品を夢中に観賞するのが私の行事である。三十六年退職後の退屈凌ぎにと、大菊つくりを初めたのがきっかけで、菊に魅せられ十五年、菊キチ、菊つくりの迷人、と自負しながらも、自分の健康の基調は、菊への愛着であり、感動であり、来年こそはの望みである、と信じ日々の手入れ管理に余念ないのも、百余種の大菊を咲き誇らせて、日暮と共に養成燈を灯して、菊花と光の交響詩をうたい上げ、招待客と共に陶酔の境に引き込まれる一時間が、私には最高の楽しみであり、極楽である。

雑草の中に咲く花

徳島 新居 嘉隆

私は健康維持のため、一年程前から登山を始めている。家の前の眉山という標高二七六mの櫻の名所でもある美しい山である。夜明けを待って雨の日も雪の日も登山することを

日課としている。舗装された散歩道から生い茂った樹木の下で落葉をふみ分け細道を頂上へ登る。途中の雑草の中にうす紫の野菊の花を見て足をとめた。この堅い土の中からどうしてこのような可憐な花が咲くのであらうか。そのたくましさには驚きながら花に見入っていた。誰に見て貰おうとも又ほめられようとも思わず、雑草と戦いながら風雨に堪え自分なりに精一ぱい咲くこの美しい花を、山の冷気を胸一杯に吸いながらしばらく見入った。

花びらは秩序正しく、この花の中にどんな知恵があるのか、自然の持つ不思議さに考えこむのである。

庭に植えられ肥料よ水よと育てられて咲く花よりも、この雑草の中にたくましく美事に咲き切る花に限りなき愛着と声援を送りたい。私も山登りを始めて自然を愛する心が出来たのかも知れない。

佛通寺の紅葉

高松 福島 春枝

もう八年位前の事ですすが、静観寺から草花の苗と佛通寺から紅葉の苗を一本貰って持ち帰った。現在では大人の背丈以上に大きくなった。今年の六月佛通寺へ行くから一緒に誘われて一度行きかけた所なので早速同行した。お詣りを済ませ広い台所で昼食を頂き、小休止してから境内のあち、こち、昔の修行僧の自給自足だった頃の菜園畑など。案内役の静観寺さんが折角来たのだから、この機会に持ち帰ってはと、開山堂に通じる石段の苔や紅葉の苗三本貰った。雪舟の茶室で

お茶を頂きその庭が心という字につくられていて、角竹の生い茂った所が心の点にあたるそうです。竹といえは丸いものと思っていましたが四角な竹の生えているのは珍らしかった。心を残して帰路につく。

秋の花といえは萩、桔梗、かや、など月見の茶会を思い出しますが、また機会があれば紅葉のすばらしい風景に接したいものです。

野の花に限りなき愛着

松山 玉川 つとむ

ことしも私の好きなミズヒキ草をみつめました。二百十日すぎ秋風が立つころ、きまつて近所の垣根の下に、赤いちいさな実のような花をつける水引草が咲くのです。

つゆたため水引の紅触れあへる 蒼石
昨年の秋、急に思い立って山陰へ足を伸し一日を名峰大山で遊んだ折、大山寺近辺、横手道などの樹下で多く見たこの草花。赤い花の点々とした状態を、水引にたとえたのがその名のはじまりとか。この花は種子ぐらいにしか見えないが、よく観察すると、その一個一個がきれいな花形であることに驚かされます。

茂った雑草の中からみつけ出す水引草にひそやかな喜び、そして一年のすぎる早さに驚くのです。

野菊、彼岸花、秋の七草と、秋の花は多いけれど、なぜかこの小さなミズヒキ草が好きなのです。花屋の店頭にはいろいろな秋の花がはなやかさを競いあっています。野菜にしても、花にしても、年中豊富に出回って季節感が感じられぬこのごろですが、野草は自然

の移り変わりの中で芽を出し、花をつけ、四季の楽しさを味あわせてくれるのです。踏まれても、クワでけずられても成長するその生命力のすばらしさ、生への尊さを知るのはです。温室育ちの美しさ、はなやかさは持たないけれど、かれんでつましい野の花に限りない愛着を感じるのです。

菊の花薫る

高松 宮脇 義雄

在職中電信電話記念日の頃よく用いた「菊の花薫る候」が思いだされます。

障子の棧がクッキリとする秋日和の一日、活けたキク花が室内一杯に薫る床しさ、キク葉の天婦羅の香り。花の色が変わらない程度に湯通ししてさらし二杯酢に漬けて一年中色と香りを楽しみなが酒をたしなむ人、花を干して枕に入れて夢と香りを愛する人。

日本人なら年令性別を問わずいつどこにいても忘れることのできないのがキクの花です。つくってごらんさい必ず花は咲きます。キクへの愛情の大小が花の薫りを左右するとか申します。

私の洋らん作り

徳島 橋本 一治

もう二十年前に片肺を落して今迄やってきた写真を止め何か作りたい、ばらも良い、菊もきれいだが出張などで一週間も水をやらないとお終いだと色々考えていた矢先に、女房の勤先で徳島洋らん会の元老格の寺尾様を知り冬の暖房さへ出来れば水切れでちよつとやそつとで枯れるものではないと聞きカトレ

ヤ・デンドロビウム数鉢を入手作り初めたのが今日に至っている。今日では約五〇〇鉢、色々な種類が雑然と入っているが原則としてカトレヤ・デンドロビウム（ノビル系）、パピオジウムに重点を置いている。

美しいものは無数にあるが育てて見ると一つの温室で温室の位置によって日照不足温度不足等が市内地ではさけられないためと、色々な性質の異ったものをどれもこれも美しく作ることとは不可能なことで、色々作っている中に良く育つ自分の好きなものが定まってくるものです。

今日はデンドロビウムについて簡記して見たい。原産地はインド、ビルマ、タイ、フィリピン等東南アジアで我国のセッコクも同属で、小型の親になっている。

品種の改良により現在では個体も四倍体で性強健で着花の良い美しいものが無数に作り出されている。反面に原種はやはり原産地の条件を作ってやらないとうまく行かないのが多い。四、五月頃に屋外に出し施肥、灌水を充分にやり七、八月に施肥を切り水も止めて乾季を作る。直射日光で屋根の上に放置している人も多い。九、十月に二、三回第一磷酸カリの一、二%液をやる。

花が咲かずに芽が出て困ると言うが窒素分が残っているのではないかと思われる。花芽の形成に一番必要なのは低温に当ててから温室に入れることで霜に一、二度当てる位が良いと言われているが十四度C位下に二十日以上、十度以下で十日以上とも言われている。水が行き過ぎると根がくさると水やりを気を使っているが気温の高いときは気にしなくて良い。

気をつけることは秋の温度の下ったときに水がたまって根がくさることだと思う。

良い条件は鉢の芯まで水が行き渡り、乾かぬことだと思う。余りかわいがると過保護になつていためてしまう。

昔からデンドロは洋蘭作りの入門と言われているが気安く作って見ること、少量なら無加温でたのしんでいる人も多い。

乾燥状態では0Cでも越冬する。但し開花はおそくなる。順調な開花を望むならば5C以上は欲しいものです。

優雅な花

高松 香川 準一

路傍に咲いている名もない草花でも、花壇で丹精こめて咲かした花でも、それぞれ特異な美しさがある。私は道を歩いていても見えてくれる人もなく、ひっそりと咲いている名も知らぬ花の可憐さに心ひかれ思わず手を出すこともしばしばある。

三年前種苗店で野ボタンの優雅さに心引かれ一鉢買って露地植をしたが、毎年夏にあざやかな濃紫の花を咲かしてくる。この花は夏のお茶花として珍重されているとのこと。私はこの野ボタンをこよなく愛している。花期も八月中頃から十一月頃まで咲き続てくれる。

しかし美人薄命というかこの花も一日の寿命でしかないのが淋しい気がする。今年もやがてその時期を迎えるので待遠しく思っている。それはあたかも一年振りに訪れる恋人を待つような気持とても表現したい。

なでしこは私の好きな花

松山 野本 登美江

私は花はみんな好きです。

野に咲く名もない花、豪壮な邸宅に咲き誇る豪華な花、谷間に香るかれんな花。

白い花。紅い花。

自分の存在をはるかに香る花、ほのかにつつましく咲く花。

朝咲く花、夜開く花、太陽を追って咲く花、たった一日で終る花。

実を持たない花、木に咲く花もあれば草花もあります。

冬咲く花、春香る花、真夏に強烈に咲く花、秋には野に山に七草をはじめいやがうえにも秋のふぜいを色どってくれる花。

どの花もこの花も人間の顔形が違うようにみなそれぞれの持ち味を生かし、せい一ぱい花を咲かせています。

花を見る人の感情、環境等によって好きな花、きれいな花、等と批判します。

でも花をみて怒る人はいないと思います。もうすぐ秋です。なでしこ、桔梗、と野に山にあわい色の花を咲かせ季節を知らせてくれます。

私は特に草むらに咲いたなでしこのかれんな花が大好きです。うす紅色の優美な花、それでいてかぼそく、どこかとおしさをかんださせる花。

大きな夢と希望を電話交換にかけて、郵便局に入った当時の好きな花がなでしこでした。大の仲好の友とおそろいの着物も、好きななでしこの花がら、押し花を歌集にはさんで

とり交わした花もなでしこの花でした。若い日の夢を友と語り友情を交わしたのもなでしこの咲く丘でした。

今はもうその友も亡くなりました。

若き日の思い出秘めて咲く花は

うす紅色のなでしこの花

会員消息

松山 有井 八郎 七二才 三五年

健康状態。まあまあ。

老人の話のおおかたは健康に係するもので、私もその一人である。これは自他共にそれでよいので、老人が色事等にさせるような話をしてみても誇張しているとは思えない。誰れしも古稀の前後ともなれば身体のごくかに老化の現象が出て来る。あまり好い言葉ではないが、ハ、メ、マラ、と昔から言われている。先づこの点から兆候が出て来る、これは致し方がない。

私は心臓不正脈で通院している。心電図もよくないそうである。医師曰ク。七十年も使用すれば悪くなりやす。耳鼻科医師曰ク。耳が遠くなると、なが生きると言いますよ。歯科医師曰ク。歯は治療して置かないと益々悪くなりやす。有難いご注意であるがこの頃の歯科医の待ち時間の長いこと、治療期間の長いこと、治療代金の高いこと。医は仁術であると言った時代に生れた者には現実の世界はあまりにも見ぐるしい。

徳島 岡久 武夫 六十才 四八年

私は敬老の日等で百歳近い人のテレビを見ていると、ながいきしすぎた気の毒な人達であると思うのである。これ等の高齢長寿の人達はすぐれた健康の持主であったからであまあ結構であるが、中風等で身体の不自由であったり、病弱で、シモの始末に人手を借るようになつてはお互にたまらない。そこで当面の問題として、安楽死と言うことがもっと真剣に考えられ論議されてよいのではないかとつくづく思うのである。

在職中に戦前生れの三人の子供も就職結婚をすませ今は孫七人がありそれぞれ仕合せな生活をしているので特に心配することもなく老妻との二人暮しです。

私自身腎臓を冒され療養を続けています。平常苦痛を覚えることはありませんが食事が特別なため人並みに酒類がいけない。労働がためです。退職後は専ら養生一途に家に居ります。元気な人や働いておられる方々から見ればあれは怠け者であろうと思われれると思つています。余生いくばくもない何年かを思う時、何がしか後に残るようなこと、人々に喜ばれるような事がしておきたいと常々心がけてはおりますが何をすることも力はいらず只々無力を恥ずるばかりです。

趣味としていた菊、皐月、庭木など作つていても手入不足で次第弱りという所です。ハミリ撮影は孫の生い立ち、旅行、行事、親類の結婚式などを写しては楽しみにしています。健康法として始めた尺八も次男に譲りわたし

てしまい、変って退職金の一部を株式投資して色々社会勉強をしていますがいままで続くことやら。只願わくば天下泰平家内安全を祈るばかりです。電電公社に奉職して二十五年余大過なく無事退職出来たことを誇りに感じています。

徳島 木内 正一 六二才 四六年

退職後一年余りは子供の結婚など何かとしなければならんことがあり家事専念というところでした。

体はまあ達者な方ですが、これという趣味を持たないからか？暇ができると毎日を持て余し気味、これではいかんと思っている時知人から誘われて税務署の外廊団体の仕事をするように二年半務めました。仕事は会社関係を訪問するのですが、最近では自分で車の運転が出来ないと仕事が思うように出来ないことを感じこの六月に退職しました（いままら運転免許を取るのは厄介で）。しかしいろいろの業種の企業の人々に接して得がたい経験もし勉強になりました。また機会をみて達者なうちは年を忘れて何かをやりたいと思っております。

松山 水野 輝穂 六五才 四三年

体に気をつけて長生きしてください、と若い人達からいたわりの言葉をかけて貰うと、そんなに老いてきたのかと淋しい気持ちがある。公社から共済会、整備会社、ずいぶん長い間厄介になったが高年令者は職場を去ら

ねばならないいきまり、まだまだ病院通いの必要もなく、長い間の習慣で朝出勤の時刻になると落ちつかない。晴耕雨読、しずかに余生を過すのはまだまだ先のことだと思っている。さて今まで庭木、花の手入れ、植替え等女房まかせであったが給料を支払う能力が無くなった現在せめて手伝いと、除草、殺虫剤の散布、水やり等、しかし剪定はまだ女房、植替えは主人、時々施肥、消毒の失敗もあるが美しい花がとりどりに咲いて庭も賑やか、通りがかりの人が足を止めて、垣根の外よりのぞき見をしたり声をかけて頂くのもうれしい朝の作業のあと外出、前に勤めていたことのある職場の知人、電友会の事務所等を訪ね雑談、パチンコもしたりして帰宅また植木、盆栽に水やり等て日課終了。

健康の秘訣はと聞かれると「よく喋りよく歩くこと」その他のことは人に聞けと答えている。

△電電公社 人事異動（五〇、八、一二付）

松山電報局長 渡部 般貞
伊予吉田電報電話局長 矢野 春雄
川之江電報電話局長 野生須賢一
板野電報電話局長 三橋 秀男

本年度連合会総会会場を次のとおり変更します。

十月三十日 高知市県庁前
電気ビル 八階八〇四号室

謹んで風水害のお見舞いを申し上げます。

電友会四国連合会

投稿規程

- 一 会員消息（四〇〇字以内）
 - 二 文芸（短歌、俳句、川柳）五首又は五句以内
 - 三 随筆、随想（六〇〇字以内）
- 原稿締切 十一月五日
原稿の取扱についてはお任せねがいます。

編集後記

○今年もまた招かざる客の台風で、各地に大きな被害の置土産が残されました。ご被害をうけられた会員各位に対し、心からお見舞いを申し上げます。

○四九年度決算（文書広報課ご提供）で電電公社の経営が発足以来のピンチに立たされている状態を知り、公社をあげての打開に尽されている現況を再認識しました。

○本年度の連合会総会は十月三十日高知市県庁前、電気ビル八階会議室で開催することに変更致しました。

○末筆になり恐縮ですが、ご多用中にもかかわらず玉稿をいただき、おかげで予定通り発行できましたことを厚くお礼申し上げます。

（玉川記）

電友会四国連合会会報 第二二号

昭和五〇年一〇月一日発行

編集発行 電友会四国連合会事務局

〒 790 松山市一番町四丁目

四国電気通信局内

電話（〇八九九）三六二二〇二三

印刷 四国電話印刷株式会社